



町長日誌

No.274

町長日誌の第274号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆様のご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

8月7日（金曜日） PM3:45

いやあ～暑いですね！オホーツク管内には「熱中症警戒アラート」が発表され、津別町や遠軽町では5日から30度超えで、今日は36度超えです。興部町も32度となったようです。明日には気温が下がる予報ですが気がかりなのは台風15号です。予想外の進路で太平洋から真っ直ぐ北海道に上陸するかもしれません。

7月28日午後4時27分、熊本県宇城市氷川町で震度7の地震が発生しました。今回の地震では何といっても嘉島町のイオンモール熊本が避難を終えた午後5時50分にガス爆発を起こしたことが衝撃的でした。報道でしか情報が入らないことから繰り返し放送されるこの爆発事故が熊本地震のように勘違いしてしまいそうですが、実際は全壊した家、半壊の家、水が出ない、電気がつかない、そして追い打ちをかけるような40度超えの毎日、夜の気温が30度超えですから、住民の皆さんの体力が持つのか私には想像すらできません。辛うじて残った住宅も今迫っている台風で水浸しになるかも知れないのです。私は家業が酪農ですから牛など家畜を飼育している農家のことが気になります。熊本は九州では有数の酪農県なのです。幸い電気や水の確保は早くできた様で一安心ですが、米農家は給水管が破損して大変な様です。田んぼと言うと水路を思い浮かべる人も多いでしょうが、今は地下に配水管を敷設して小さな田んぼを大きく整備しているところが多く、今回の地震ではこの整備が裏目に出たようです。熊本は10年前の2016年4月に益城町を中心に震度7の地震があったのは記憶に新しいところなのですが、発生場所は違えどもまた同じような地震の被害を受けたわけです。昨夜のテレビで、役所が台風に備えてブルーシートを配布しているとの報道がありましたが、高齢の男性が屋根に上がれないので「誰か上がってくれる人はいないか？」と役場職員に尋ねるのですが、上げられる業者や人はいないため諦めて家具に直接シートをかける姿を見ました。町長として避難所運営や水道の復旧など行うことは山ほどありますが、高齢世帯が増える中、どのようにして個人の生活や財産を守るかという取り組みの必要性も考えさせられました。

8月1日（土曜日）

夏祭り前夜祭、長期予報が外れ雨は降らないようですが少し肌寒さを感じる天候でした。大変多くの来場者（観光協会は6000人以上と）に楽しんでいただきました。今回も(株)ニトリの企業版ふるさと納税などを活用した5000発の花火大会が無事開催できました。今年は6年ぶりに似鳥昭雄会長が来町され、奥さんやお孫さんと花火や夜店を楽しんでいただきました。会長曰く「昔の夏祭りのようなこの感じがとてもいい！私は満州生まれで北海道に故郷が無いので、家内が生まれた興部が私の故郷のように思える！」と話してくださいました。お帰りの時に「来年も来るよ！」と言ってくださいました。世界中を飛び回る会長の癒しの一時が興部町の夏祭りになっていただければ、多額の応援を続けていただいている似鳥会長ご夫妻へのほんの少しだけの恩返しになるのかな？と思った夜でした。

私は来週夏休みをいただきます。お墓参りや様々な夏休みを満喫していただきたいと思います。夏の疲れは気温が下がったときに出ると聞きます。海山そして交通事故などに十分気を付けられ、楽しい思い出をたくさん作っていただければと願っています。では、また。



お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務係まで。TEL 82・2131です。

